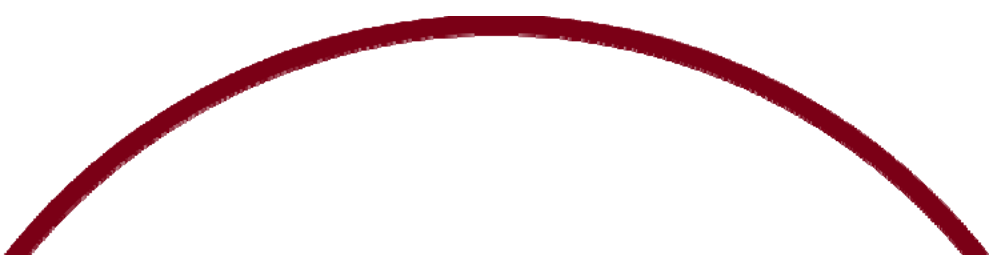


ナショナル・レジリエンス・コミュニティの 取組状況について

平成29年3月22日

内閣官房 国土強韌化推進室



ナショナル・レジリエンス・コミュニティ構想

ナショナル・レジリエンス・コミュニティ(仮称)(通称:レジリ学園)

活動はオンラインとオフライン両面で実施

- ナショナル・レジリエンス・コミュニティ（仮称）（通称：レジリ学園）（オンライン）
 - ・フェイスブック公開グループのホームページによる防災・減災に興味・関心がある方々の情報交換・交流など
- レジリナイト（オフライン）
 - ・月1回、国土強靱化推進室が場を提供し、関係者間の情報交換・交流

活動の創造・コラボ・触発を促す

国土強靱化ワークショップ

ナショナル・レジリエンス・コミュニティ（仮称）による新たな情報・関心をワークショップ形式で実施

レジリエンス



地方創生
まちづくり
教育、福祉
デザイン
経済、IT、...

- 自主的な活動を創造する、またはすでに活動しているコミュニティのコラボや触発を促す対話型WSを実施。
- 多様なテーマとレジリエンスを掛け合わせ、有事だけではなく平時にも生きる価値を生み出す。

各活動自らが発信

コミュニティが発信

国土強靱化
HP/SNS等で発信

・コミュニティの活性化につながるインセンティブとして

メディアでの発信

各活動の関係者や
関心の薄い層への
広がりへ

キックオフ・ミーティング
→ コミュニティについてのアイデアソン

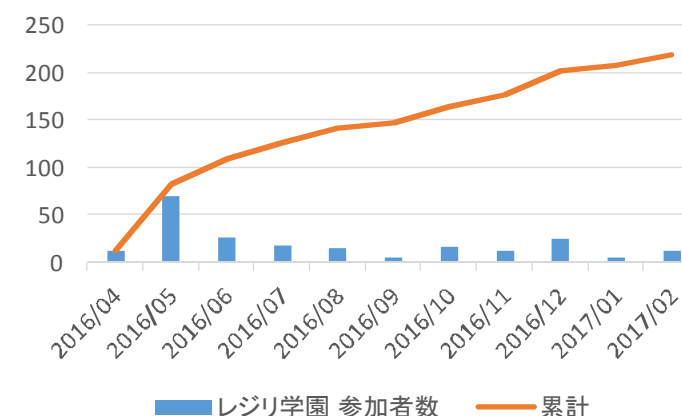
ナショナル・レジリエンス・コミュニティの取組状況

平成28年2月20日にナショナル・レジリエンス・コミュニティをキックオフ。日常からのつながりが災害時に役立つとの考えから、平成28年4月に民間有志によりSNSを活用した交流の場を通称「レジリ学園」として開設。またメンバーのつながりを強化・拡大するため、平成28年5月より顔の見える交流の場として「レジリナイト」を開催し、オンライン・オフラインの両面で活動を展開。

レジリ学園(オンライン)

- 平成28年4月～活動開始。
- Facebookに公開ページを開設し、情報交流等の活動
- 参加者は13名でスタートし、8ヶ月で200名を突破
(キックオフ・ミーティングで開始時に大きく増加し、その後漸減していたが9月以降の国土強靱化ワークショップにより増加傾向に転換)

レジリ学園参加者数



レジリナイト(オフライン)

- 平成28年5月～オフラインミーティング「レジリナイト」を毎月開催
- 仕事や学校の帰り等に内閣官房の会議室に集まり国土強靱化に関する情報交流等の活動
- 参加者は毎回約20名程度
- レジリナイト発の活動として、産学官民連携による「遊ぼう祭2016」(参加者数200名)(実施済)、SNSを活用した減災・防災(企画中)



キックオフ・ミーティング

(平成28年2月20日): 37名参加

国土強靱化に関する情報交換・交流を拡大していくため、自主的な活動の創造やすでに活動しているコミュニティのコラボや触発を促す「対話型ワークショップ」を平成28年9月より4回開催。

第1回(H28. 9.30、東京)「レジリエンス×コミュニティ」 支え合えるこれからのコミュニティについて考える



認定NPO法人レスキューストックヤード
常務理事 浦野 愛



未来創造ダイアログ



グループ発表



各自の気づきを全員で共有

第2回(H28.10.15、東京)「レジリエンス×伝え方」 情報をどう伝え、どう受けとめて命をまもるか？



NHK報道局 災害・気象センター
災害担当部長 菅井 賢治氏



ロールプレイング



演劇形式での発表



各自の気づきを全員で共有

第3回(H28.12.10、大阪)「レジリエンス×コミュニティ」 いざという時、支え合えるつながりをつくるには？



コミュニティデザイナー
株式会社studio-L 代表取締役
山崎 亮氏



未来創造ダイアログ



紙芝居形式での発表



各自の気づきを全員で共有

第4回(H29. 2.4、東京)「レジリエンス×命をまもる」 命を守るため私達にできる5つの行動を考えよう！



医学博士 防衛医科大学校 准教授
秋富 慎司氏



アイデアワーク



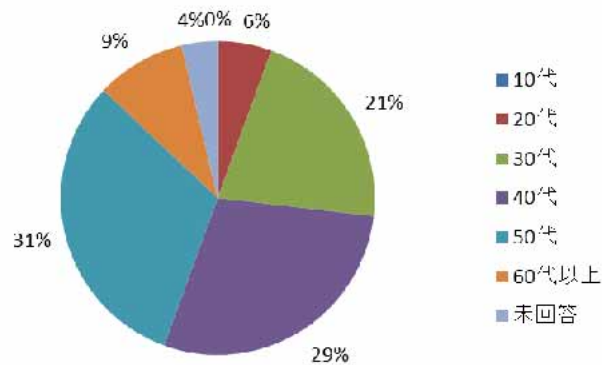
グループ発表



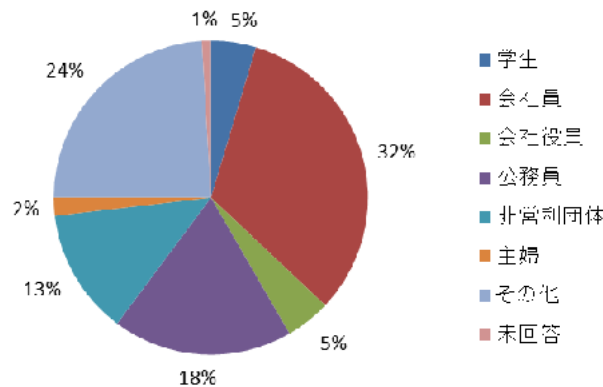
各自の気づきを全員で共有

国土強靱化ワークショップの参加者は、平成28年度開催全4回で、112名。年齢については30～50代の参加が全体の約8割。参加した感想については、9割以上が有意義だったまたはやや有意義だったと回答。また、今後の参加への意思については、約8割が国土強靱化ワークショップの参加を希望、約5割がオンラインコミュニティへの参加を希望。

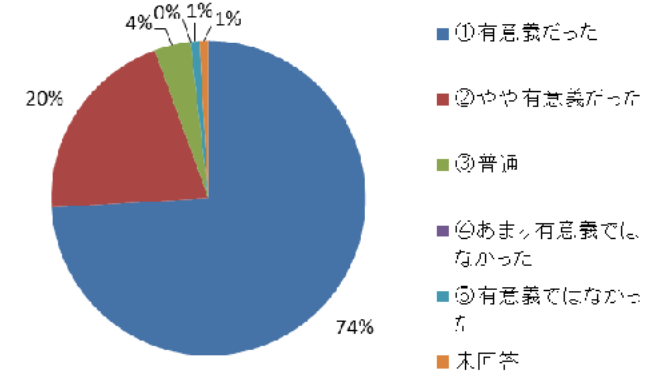
年齢



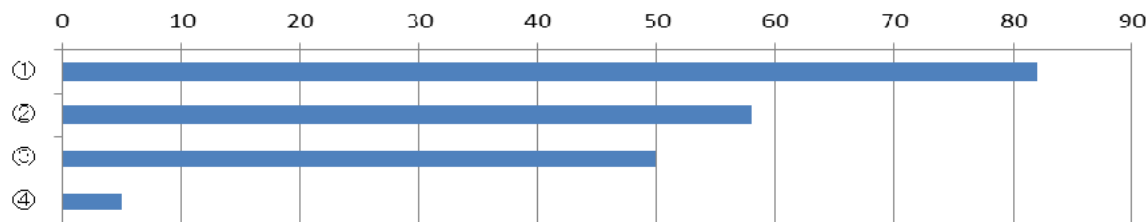
職業



参加した感想



今後の参加の意思(複数回答可)



①また国土強靱化ワークショップに参加してみたい。	82
②レジリ学園のイベントやワークショップに参加してみたい。	58
③レジリ学園のオンラインコミュニティ(Facebook上でのやりとり)に参加してみたい。	50
④今後は、あまり参加してみたいと思わない。	5

参加者からの意見等

- 活発な意見交換から多くの気づきを得た。
 - 様々な分野の方と出会えてよかった。
 - ワークショップを継続開催してほしい。
 - 連携して活動をしていきかけになる。
 - さまざまなテーマで意見交換したい。
 - 地方でのワークショップ開催を希望。
- 等